

第32回総会誌

# 徳島玉翠会



「暮色のせとしるべ」

2025年(令和7年)度版

2025. 6. 21(土)開催

# 目次

表紙題字：山下 俊文

表紙写真：森川 輝男

## ごあいさつ

[徳島玉翠会会長]	長尾哲見	02
[玉翠会会長]	間島賢治	03
[香川県立高松高等学校長]	中筋功雄	04
第32回徳島玉翠会総会案内・式次第		05
特別講演の紹介 写真撮影の楽しみ方 [玉翠会副会長]	森川輝男	06
2024年度会計報告 [徳島玉翠会副会長兼会計担当]	中村芳正	07
主な活動報告、徳島玉翠会役員・事務局関係者名簿		08
第31回総会・懇親会の報告 [徳島玉翠会副会長兼事務局長]	坂口英則	09
第31回総会・懇親会集合写真		10
玉翠会だより		
徳島玉翠会第32回総会に寄せて [岡山玉翠会会長]	仁木 壯	11
徳島玉翠会第32回総会に寄せて [東海玉翠会副会長]	菅野正朗	12
高松高校創立130周年記念事業のお礼 [玉翠会副会長]	佐藤哲也	13
表紙写真への寄稿 画題「暮色のせとしるべ」 [玉翠会副会長]	森川輝男	14
徳島玉翠会会員寄稿		
第31回総会特別講演 武士道と医療 [徳島玉翠会幹事]	長町顕弘	15
高松高校創立130周年記念祝賀会 [徳島玉翠会副会長]	松原 淳	18
引っ越しと歩んできた私 [徳島玉翠会会員]	高木貴志	19
支部総会出席報告		
東海玉翠会総会 [徳島玉翠会会長]	長尾哲見	20
東京玉翠会総会 [徳島玉翠会幹事]	伊賀弘起	21
関西玉翠会総会 [徳島玉翠会副会長]	坂口英則	22
岡山玉翠会総会 [徳島玉翠会会長]	長尾哲見	23
徳島玉翠会会則 [徳島玉翠会副会長兼事務局長]	坂口英則	24
2024年度会費納入者 [徳島玉翠会副会長兼会計担当]	中村芳正	25
編集後記 [徳島玉翠会事務局編集担当]	邊見千香	25

## 賛助広告ご芳名

旭鉱石株式会社	株式会社アルファード
いしたに耳鼻咽喉科クリニック	株式会社エクセレントケアシステム
いのもと眼科・内科	株式会社小竹組
医療法人医牛会 宮内クリニック	ザ グランドパレス徳島
丸浦工業株式会社	

## ごあいさつ

徳島玉翠会会長 長尾 哲見（昭和44年卒）

今年は年頭からインフルエンザの猛威で体調を崩されている方が多い上にまだコロナが依然として流行しており、油断できませんが皆様もくれぐれもご注意下さい。

さて、徳島玉翠会は昨年6月22日(土)徳島グランドパレスで第31回総会を開催し、本部からは間島会長、母校からは中筋校長らのご来賓のご臨席を賜り、ご挨拶も頂く事が出来ました。昨年はまだコロナ禍の影響もあり、以前より参加者も少なく残念でした。

今年の第32回総会は6月21日(土)午後1時から徳島グランドパレスで開催いたします。徳島支部の会員の皆様には万障お繰り合わせの上是非ともご参加下さい。

また、皆様には送付した総会誌にお目通し頂き、県内外で同期の方がいましたら是非ともお声かけお誘い頂ければ幸いです。役員一同鋭意準備して皆様のご来場をお待ちしております。

最後になりましたが徳島玉翠会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝と母校の益々のご発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。



## ごあいさつ

玉翠会会長 間島 賢治（昭和47年卒）

徳島玉翠会の皆様には、日頃より玉翠会の運営に関して多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年8月の高松高校創立130周年記念祝賀会に際して、徳島からも多くの皆様にご参加いただきありがとうございます。祝賀会は10年毎の開催ですが、従来は10年毎に500名単位で参加者が減っていました。今回は、皆様のご協力で前回120周年とほぼ同等の約1,000名のご参加をいただき盛大に開かれました。本当にありがとうございます。私も毎年、東京、東海、関西、岡山、徳島など各地玉翠会総会に出席させていただき皆様との懇談が大変楽しみになっております。

さて、高松高校の後輩たちも文武両道の精神で部活動にも邁進しておりますが、昨今の働き方改革は先生方にも関係しており、部活動のあり方も見直されているようです。各部の先輩あるいは地域が支えるようになるようですが、変革の波は教育界にも及んでいます。各部先輩の皆様も、後輩のために物心両面で支えていただければ幸いです。

ところで、四国遍路を世界文化遺産に登録するために、四国遍路世界遺産登録推進協議会にて四国四県が一体となって活動をしています。一番札所霊山寺は、ご存知のように徳島です。世界文化遺産登録を目指す暫定一覧表に記載されている候補が残り少なくなっており、来年の3月頃までに暫定一覧表に記載すべき新たな国内候補が選ばれる予定です。今回の機会を逃すと、世界文化遺産登録は更に先になってしまいます。四国四県が一体となって活動をしているのは、四国遍路世界文化遺産登録や四国新幹線の実現です。私は現在、同会の普及啓発部会長を仰せつかっていますが、ご賛同いただけるようであればご協力いただければ幸いです。

玉翠会では毎年、皆様からお振込みいただく年会費の中から200万円程度を教育基金に繰り入れをし、現役生徒にはほぼ同額の奨学金を助成させていただいています。このことを知った複数の先輩から、高松高校創立130周年を契機として、奨学金にと匿名で多額のご寄付をいただきました。微力ではございますが今後とも努力して参りたいと存じますので、これからも皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

最後になりましたが、徳島玉翠会の益々のご発展と長尾会長様をはじめ会員皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。



## ごあいさつ

香川県立高松高等学校長 中筋 功雄（昭和59年卒）

向夏の候、徳島玉翠会会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育諸活動に格別のご高配を賜っておりますことに、学校を代表して厚く御礼申し上げます。

さて、目覚ましい技術革新や目まぐるしい社会制度の変化、加速化する少子高齢化などによって世の中は激しく変化していますが、学校現場、教育現場においても戦後最大と言われるほどの大変革の時代を迎えています。例えばコロナ禍で一気に進んだ教育のICT化は、児童生徒の一人一台タブレットの配備や、教室の電子黒板化などによって授業のスタイルを一気に変えました。また、地方における常套句となった感のある学校の統廃合は、香川県においても漸次進んでいます。なかでも、校長として最も大きな変化だと感じるのは、「働き方改革」という概念がここ10年程の間に随分と浸透したことです。教師という職業には勤務時間の概念が当てにくいというのに、以前は課外授業や個別指導、とりわけ部活動指導などではどれだけ時間をかけるかが教師の熱心さの評価軸であるような文化もありました。それが昨今では、毎月の勤務時間外労働が一定の基準を超えると管理職からの指導の対象となるといったように、以前とは真逆の様相です。本校においても、留守番電話の設置、生徒の欠席連絡のオンライン化、業務用PCによる勤怠管理などハードウェア面で改善に取り組むとともに、部活動指導員を令和5年度からヨット部に、教員業務支援員を昨年度から教務職員室に、特別支援教育支援員を同じく昨年度から通信制課程にそれぞれ配置するといった人的支援も取り入れて先生方の負担の軽減を図っています。

本校のミッションは明治26年の創立以来、国や地域を支える有意な人材を輩出することであり続けてきたと考えます。そのためにこれまでの先輩諸先生方は、生徒の探究心を開拓し、深い学びを展開し、高い進路目標の実現を果たしてきました。最近の教育現場の変化によって授業が行われる教室の様子や生徒が用いるツールが変化しても、生徒の「学び」を軸に繰り返される本校の教育活動の根幹の部分は、決してブレることなく受け継いでいかなければなりません。また、先生方の働き方改革も、先生方に時間的、体力的、精神的なゆとりがもたらされることで、生徒への教育活動の質が向上し「学び」が深まっていくことに資するものであると期待して進めているところです。昨今の足早に変化が進む教育現場を見るにつけ、改めて本校の「不易流行」の部分意識するこの頃ですが、その際には、玉翠会員の皆様から折に触れてお聞かせいただく本校在学中の思い出話や、ご卒業後のご苦労やご活躍の様子、現在の本校へのご期待などは、校長として学校運営のかじ取りを担って行くうえで貴重な金言となっております。

最後になりましたが、本総会の盛会とご参会の皆様方のご健勝、徳島玉翠会の更なるご隆盛を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



## 第32回 徳島玉翠会総会案内

日 時：令和7年6月21日(土)  
13：00～16：30  
会 場：ザ・グランドパレス徳島  
〒770-0831 徳島市寺島本町1-60-1  
TEL：088-626-1111  
FAX：088-626-4565  
URL：http://www.gphotel.jp  
Mail：mail@gphotel.jp



## 式次第

特別講演(13：00～13：30)

写真撮影(13：30～13：50)

総 会(14：00～14：20)

- 一、 開会の辞
- 一、 徳島玉翠会会長あいさつ 長尾 哲見(昭和44年卒)
- 一、 総会議事
  - ・2024年度 (令和6年度)会計報告
  - ・2024年度 監査報告
  - ・2024年度 活動報告
- 一、 その他
- 一、 来賓紹介
- 一、 閉会の辞

懇親会(14：30～16：30)

- 一、 開会の辞
- 一、 徳島玉翠会会長あいさつ 長尾 哲見
- 一、 来賓挨拶
- 一、 乾杯
- 一、 懇親
- 一、 徳島クイズ
- 一、 出席者1分間スピーチ
- 一、 校歌斉唱
- 一、 万歳三唱
- 一、 閉会の辞

## 特別講演の紹介

フォトテル企画 代表 森川 輝男（昭和 41 年卒 玉翠会副会長）

### （ 略 歴 ）

- 1947年 香川県国分寺町生まれ  
1963年 写真業界に就職  
1966年 香川県立高松高等学校定時制卒業  
1968年 日本写真専門学校専修科卒業  
1970年 森川写真工房設立  
1972年 第20回二科会写真部初入選「花と子供」  
第1回個展「青春」宮武画廊  
1976年 第39回国際サロン入選「入浴する母子」  
1979年 肖像写真労働大臣技能検定1級技能士合格  
1984年 第3回個展「讃岐路花散歩—花たち四季のうたごえ」東京・新宿  
1989年 森川輝男写真集 塩飽本島「人名海域の今」東京・新宿野村ビル1階  
1992～98年 NHK文化センター高松「写真講座」講師  
1994～95年 香川の文化財撮影  
2011年 香川県写真家協会設立会員  
2012年 第60回展二科会写真部 奨励賞「怪樹」  
2020年 第68回展二科会写真部 入選「海辺の光景」会友推挙  
第7回個展「聖地インド・香雪とサルナート」香川県立ミュージアム  
2023年 森川輝男写真集「讃岐路」出版  
第10回個展 森川輝男写真集「讃岐路」出版記念写真展 香川県文化会館  
2024年 第11回個展「お釈迦さま悟りと説法の地に行く」ギャラリー喫茶・アートプラザ
- 所属団体 二科会写真部香川支部長 香川県写真家協会会長 香川県美術家協会副会長  
香川風の会会長 国分寺写真同好会講師



### （ 賞 ）

- 2022年 旭日雙光章叙勲

### 演題名「写真撮影の楽しみ方」

#### 講演要旨

1. 写真のジャンル  
営業写真 広告写真 報道写真 山岳写真 海中写真など。
2. 撮影に必要な知識  
カメラの機能・ボディやレンズの性能と特徴。
3. 写真作品とは  
写真作品は、記録として撮影することから、作品づくりに入る。

- ・廃プラのマテリアルリサイクル ・廃プラ・木屑等の固形燃料化
- ・木屑・廃プラ・汚泥等のサーマル焼却 ・砕石及び再生砕石の製造販売

## 旭鉱石株式会社

代表取締役 漆原 本晴（昭和 43 年卒）

〒771-4265 徳島市飯谷町枇杷の久保 13 番地 4

TEL 088-645-0169（代表） 088-645-0373（注文受付）

FAX 088-645-1575

## 主な活動報告

年 月 日	内 容	場 所
2025年 1月18日	第32回徳玉会役員会・総会準備委員会（第1回）	カフェ亭望
3月22日	第32回徳玉会役員会・総会準備委員会（第2回）	カフェ亭望
4月 5日	2024年度会計監査（中村会計担当・寺嶋監事）	徳島市内喫茶店
5月11日	第32回総会誌送付作業・総会準備委員会（第3回）	Hサンシャイン
6月 7日	第32回玉翠会総会準備役員会（第4回）	カフェ亭望

## 徳島玉翠会役員・事務局関係者

### 役員名簿

役 職	氏 名	卒 年	役 職	氏 名	卒 年
会 長	長尾 哲見	昭和44	副会長兼会計	中村 芳正	昭和42
副 会 長	香川 典子	昭和47	副会長兼事務局長	坂口 英則	昭和48
副 会 長	松原 淳	昭和60	監 事	寺嶋 吉保	昭和48
幹 事	岡澤恵美子	昭和35	幹 事	七條 政志	昭和43
幹 事	名尾 和広	昭和50	幹 事	伊賀 弘起	昭和51
幹 事	丸浦 世造	昭和51	幹 事	塩見 一義	昭和53
幹 事	長町 顕弘	昭和55	幹 事	西良 浩一	昭和57
幹 事	加藤 弘道	昭和58	幹 事	佐々木 園子	昭和58
幹 事	中原 大道	平成 6	幹 事	吉田 守美子	平成 7
幹 事	山下一 太	平成 8			

### 事務局名簿

事務局長	坂口 英則	昭和48	会計担当	中村 芳正	昭和42
編集担当	邊見 千香	昭和49	名簿担当	坂口 英則	昭和48
懇親会担当	松原 淳	昭和60	HP担当	中原 大道	平成 6

## 2025年度各玉翠会総会・懇親会のご案内

玉翠会名	事務局長	日 時	会 場
東海玉翠会	菅野正朗（50年卒）	5月17日（土）16:00	名鉄グランドホテル
東京玉翠会	土田 充（53年卒）	6月 7日（土）12:30	東京プリンスホテル
関西玉翠会	田島朋子（49年卒）	10月11日（土）12:00	アートホテル大阪ベイワ
岡山玉翠会	池田和真（49年卒）	11月16日（土）11:00	アークホテル岡山

お問い合わせ・ご連絡は 事務局（連絡先は裏表紙に掲載）まで

## 第31回総会・懇親会の報告

徳島玉翠会副会長兼事務局長 坂口 英則（昭和48年卒）

今回の総会から3年の空白と令和5年の繰下開催を経て、例年どおりの6月開催となりました。まだ新型コロナが完全に収束したわけではないものの、概ね世間ではコロナ前の状態に戻った感があります。

今回は来賓6名会員21名計37名の出席がありました。特筆すべきは2名の初参加があった事です。昭和57年卒の高木さん、平成25年卒の徳永さんありがとうございました。

間島玉翠会会長から、この会は毎年楽しみに参加させて貰っており、特にクイズは楽しい。昨年高高創立130年記念イベントを行い、デジタルの記念誌の発行も行った。また、オーストラリアのブリスベンから高校生にきて貰い、演奏会を開催したが素晴らしいものだった。

玉翠会としては本年8月10日に記念大会を開催するので出席して欲しいし、サンポートの再開発も見ていただきたい。

前会長の楨田さんは現在香川県ゴルフ協会々長をしているが、今年徳島大学医学部3年の森田さんが県女子アマで優勝をした事の報告がありました。

中筋校長からは、高高も4年目になるが、来年もこのまま高高にいるのかなと思う。今回2件報告があり、一つ目は放送機材を徳島玉翠会から寄付をいただいたが、その御陰もあり県放送コンテストのアナウンス部門で高高が優勝したこと。二つ目は、各支部から若い会員が入らないという課題を聞いているが、2024年は16人が徳島にきている。昨今プライバシーの問題でなかなかキャッチできないが、何らかの方法でつかまえて欲しいとのこと。

本会の発展と皆様の健康をお祈りする。母校への思いを寄せていただきたい、とのことでした。

来賓の佐藤玉翠会副会長からは、高高創立130周年記念では30から40人位が実行委員として活動をしている。徳島玉翠会は兄弟みたいに思っている。10年に1回は年代を超えて集まりたいと思っている。記念大会では参加者が100年、110年、120年と毎回100人から150人くらい減っている。まだ定員に余裕があるので是非参加して若い人を引き立ててやって欲しいとのコメントがありました。

森川玉翠会副会長からは、今年で77歳になるが、色々考える事が多い。徳島玉翠会の活動の活発さには感銘を受ける。

また私の写真集については配慮をいただき有難く思っている。30年前に「本島」の写真集を出版した。今回は「讃岐の自然・歴史・人の生業」をテーマに真宗を出版した。良ければ目を通していただきたいとお言葉がありました。

高木関西玉翠会副会長からは、この会はいつものように和気藹々として話しやすい。関西では出席者が300人もいるので、年代別にテーブル・席を分けているので色々な人となかなか話がしづらい。

数年前退職をして特に何もしていない。関西玉翠会の役員会や会社の同窓会に出たり、日本プロジェクトマネジメント協会の裏方などには出席しており、その幹事会では色々な人との繋がりができるのはありがたい、とのことでした。

菅野東海玉翠会副会長兼事務局長からは、東海では一切合切を私がやっており、中々忙しい。徳島は全てにおいてきちっとやっておられて羨ましい。また貴会には繰越金が多いのも羨ましい。今年の130周年記念には参加しようと思っている、とのコメントをいただきました。

今回の総会では、特別講演としてJA徳島厚生連吉野川医療センター院長の長町顕弘様（昭和

岡山玉翠会会長 仁木 壯 (昭和 46 年卒)

55年卒)より「武士道と脊椎外科」と題して講演をいただきました。また、恒例の1分間スピーチや徳島クイズで盛り上がり、本会の売りである「和気藹々」のうちに終えることができました。

総会終了後には次回の総会会場として、ここ「ザ・グランドパレス徳島」で令和7年6月21日(土)の予約を完了しました。



第31回徳島玉翠会 総会・懇親会 令和6年6月22日 於 ザ・グランドパレス

徳永	高木	松原	名尾	北畑	加藤	寺嶋	坂口	
伊賀	水口	塩田	丸浦	上田	香川	佐々木園	齋藤	
岡澤	森川副会長	菅野東海副会長	間島会長	長尾徳島会長	中筋高高校長	高木関西副会長	佐藤副会長	長町

徳島玉翠会第32回総会の開催を心よりお慶び申し上げます。

この度、多田譲治会長の後を継いで岡山玉翠会の会長を務めることになりました。不束者ですが、皆様どうかよろしく願いいたします。

私は30年近く東京で働いていましたが、その間3年間徳島県庁に出向したことがあります。ちょうど昭和から平成に変わる時でした。女性の地位向上や青少年の健全育成、「明石大橋3000日戦略」、徳島駅前再開発、那賀川町の公営ゴルフ場「コート・ベール」の建設、「アスティ」の計画づくりなどに携わりました。

「すだち連」の一員として阿波踊りに出演したのも懐かしい思い出です。

そうした徳島県での仕事の中で、高高の卒業生との印象的な出会いがありました。県が主催する明石大橋の経済効果に関するシンポジウムで、基調講演をお願いしたのが当時岡山大学経済学部の中村良平助教授でした。講演後の雑談の中で中村助教授が高高の卒業生であることが分かり、しかも同学年だったのです。中村君とはクラスを同じくしたことがなく、在学中は中村君のことは全く知りませんでした。その後私が岡山で働くようになってから、中村君とは大変懇意にさせてもらっています。岡山玉翠会総会でも記念講演をお願いしましたが、地域に根差した研究成果の還元等が高く評価され、昨年栄えある「山陽新聞賞」を受章されました。

私は綾川町(合併前の綾上町)で生まれ育ちましたが、祖先は徳島県的美馬郡加茂野宮(現在の三好市三野町)という所に住んでいたようで、明治の時代、曾祖父の代に香川県に移住したようです。実家は兼業農家でしたが、小学生の頃は精米所を営む傍らそうめんも作っていました。屋号は徳島の出ということから「阿波屋」でした。そのようなことで、私は徳島とは縁が深く、徳島玉翠会の準会員にさせていただいても良いのではないかと感じたりしています。

数年前に徳島玉翠会の総会・懇親会に出席させていただきましたが、とても家庭的な和気藹々とした雰囲気だったことを覚えています。医学面の興味深い講演もあり、徳島に因んだクイズありと、運営に大変工夫されていると感心しました。そのようなことを参考にさせていただいて、岡山玉翠会総会でも、高高の卒業生による記念講演を始めたり、「岡山・香川クイズ」をやったりしました。

これから岡山玉翠会として、どのような取組みをして行くかを考える中で、「岡山玉翠だより」の充実やHPの充実の他に、若い会員の参加を増やすために、関西玉翠会に倣ってInstagramを始めようかと役員会で相談しているところです。玉翠会の各支部がそれぞれの取組みを学び合い、協力しながら活性化を図って行きたいものです。



徳島玉翠会第32回総会に寄せて

東海玉翠会副会長 菅野 正朗 (昭和50年卒)

徳島玉翠会第32回総会の開催を心よりお慶び申し上げます。

私は何度か貴会総会に出席させていただいておりますので、総会の印象など東海との比較を交えて書かせていただきます。

初めて出席させていただいたときに驚き、また感心させられたのは、総会前に特別講演が行われることでした。しかも、あるときは格調高い、あるときは柔らかいテーマで毎回趣が違っており期待が膨らみます。貴会の役員・会員の方々の人脈の広さ、ご努力がうかがえます。

次に感心させられたのは記念撮影がプロの手によるものであり、撮影した写真を懇親会がお開きになるまでにプリントして参加者に配付するということでした。東海では、カメラこそデジタル一眼(個人所有の)を使いますが、撮影はアマチュア、配付方法もメールアドレスが分かっている会員へは経費節約のために画像ファイルをメール添付で送付、それ以外の会員および来賓の方へはカメラ屋でプリントしたものを後日郵送です。懐具合が苦しいため涙ぐましい(ちょっと大袈裟かな)節約を心がけています。

参加者数でいうと貴会も東海もほぼ同じ規模で、和気あいあいとした雰囲気も似ています。これは東京や関西のような大所帯には無い居心地の良さだと感じます。

もう一つの類似点、それは残念なことなのですが、出席者の平均年齢が高いということです。東京・関西以外の支部はいずれも新たな若い会員の入会がほぼ無く、会員の年齢がどんどん高くなっているというのが共通した悩みではないかと思っています。東海は支部の中で唯一HPを開設していないという情報発信の弱点解消も必要ではと思います。

昨年のクイズ大会にて使用されていた回答用紙(正解した番号を折る)ですが、良いアイデアなので、翌7月に開催された中部香川県人会の懇親会(私は理事なので主催者側)で真似させていただきました。5月に開催する東海玉翠会の懇親会でも真似させていただきます。

最後になりましたが、徳島玉翠会会員の皆様のますますのご活躍と徳島玉翠会の更なるご発展を心から祈念申し上げます。

高松高校創立130周年記念事業のお礼

玉翠会副会長 佐藤 哲也 (昭和54年卒)

香川県立高松高等学校玉翠会創立130周年記念事業実行委員会 委員長

徳島の皆様、ありがとうございました。おかげさまで、本事業、無事、つつがなく終わることが出来ました。今回を機に記念誌も電子化できました。式典も千人を超える方がお集まりいただきました。

当日は徳島玉翠会からも長尾会長様、副会長様はじめ多くの皆様のご参加を頂きまして誠にありがとうございました。結局、最後まで「なんにも役立たず」の実行委員長ではありましたが、ご理解のある卒業生の皆様と、実行委員をはじめとするこれからの若い人達の知恵と汗とで、厳粛かつ盛大な事業と相成りました。

何よりも、我が国全体に渡る地方人口の減少の中で、母校の140周年150周年に向けての人的な大きな繋ぎとなれたことが、この上ない成果であります。これからの歴史の変化の中、徳島も香川も高松高校も人が変わり、もしかしたら姿が変わりながらも、末永く続いていくことを心より願ってやみません。そのためにもこの玉翠会を活潑に後ろに繋いでいくことこそが、我々卒業生が母校に出来る唯一の恩返しとも分かりません。これからも世界の変化が止むことないことは皆様も良くご承知のことと思います。しかしその中で、いたるところでお励みになる高松高校卒業生皆様の元気なお姿こそが、そのままこれからの母校の隆盛に繋がることを、心よりご祈念しております。今回は本当にありがとうございました。



← 伶似野陽子  
能楽師の楽舞  
「八島・鶴亀」  
で華やかに  
オープニング



高松県女先輩  
たちのテーブル席  
お元気なご様子  
→



↑ 佐藤実行委員長ご盛会おめでとう  
ございました

↑ 昭和49年卒今年70歳の席  
総勢1000人出席のため当然立席  
写真文責は邊見

← ↑ 徳島玉翠会副会長も出席

美しくやすらぎのある空間、美味しい体験。  
お客様に幸せな時間を提供いたします。  
街の資産となるホテル&レストランへ、ようこそ。

**ザ・グランドパレス**  
徳島市寺島本町西 1-60-1 TEL 088-626-1111

**パークウエストン**  
徳島市南前川町 3-1-22 TEL 088-624-3333

**アグネスホテル 徳島**  
徳島市寺島本町西 1-28 TEL 088-626-2222

匠の心、未来へ。



**KOTAKE**  
株式会社 小竹組

〒760-0062 高松市福岡町4丁目28番30号  
TEL: (087) 851-9096 FAX: (087) 822-6975  
URL: www.kotakegumi.com

## 第32回総会誌表紙写真について

フォトグラファー 森川 輝男 (昭和41年定時制卒 玉翠会副会長)

第32回徳島玉翠会総会誌の表紙に掲載希望いただきました写真作品は、令和3年にこの作品を含む8枚構成で作成したポストカードの中の1枚でございます。

## 画題「暮色のせとしるべ」

恋する灯台「せとしるべ」は、高松港の船の安全を見守りつつ、市民に愛されています。

通称「せとしるべ」(高松港玉藻防波堤灯台)は、約600mの防波堤の先端に建ち、14mの高さがある総ガラス張りの灯台です。一辺約20cmのガラスブロックを1600個使用し、灯台全体が内側の赤色フィルムにより発光します。平成28年8月に日本ロマンチスト協会から、海への関心を高めるプロジェクト「恋する灯台」に認定され、また同年10月には、夜景観光資源化を目指すプロジェクト「日本の三大夜灯台」に、令和元年には夜景観光立国化の促進を担うプロジェクト「日本夜景遺産」として認定され、サンポート高松のシンボルとなっています。

「せとしるべ」は昭和63年、瀬戸大橋の開通により、高松港の役割が大きく変化したことで、平成10年に世界初の「ガラスの灯台」となりました。

森川輝男写真展  
恋する灯台「せとしるべ」…赤い灯台と船の光跡が幻想を醸す



「せとしるべ」

とき 令和元年8月27日(火)～9月29日(日)

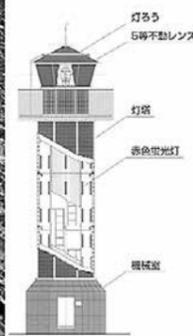
ところ ギャラリー アートプラザ 高松市藤塚町2-7-15 ☎087-831-8188

★展示時間  
10:00～17:00  
最終日  
10:00～16:00  
★定休日  
毎週・月曜日  
第1・第3週・日曜日



せとしるべ

玉藻防波堤



「せとしるべ」の構造

## 第31回総会特別講演 武士道と医療

JA 徳島厚生連 吉野川医療センター 院長 長町 顕弘 (昭和55年卒)

新渡戸稲造先生が著した「BUSHIDO THE SOUL OF JAPAN」は日本の武士道を世界に理解せしめるために1900年にアメリカ合衆国で刊行されました。新渡戸先生は古代ギリシャから始まる西洋哲学、宗教学、倫理学等万卷の書を読破し、日本武士道とそれらとを比較し考察しています。第26代アメリカ合衆国大統領セオドア・ルーズベルトは、この書に深く感動し、世界中の指導者に配ったと言われています。武士道の淵源は、仏教、神道、儒教と考えられています。その中でも最も影響を受けたのが儒教、特に論語であったと述べられています。武士道は何も新渡戸先生が作り出したものではありません。数百年の年月と多くの先達達によって紡がれた道徳体系です。

## 本居宣長の名句

敷島の 大和心を人間はば 朝日に匂ふ山桜花

ひっそりと、しかし覚悟を持って生きる日本人の心を見事に表しています。

また、西郷南州遺訓には

## 遺訓二五条

人を相手にせず 天を相手にせよ

天を相手にして己れを尽し人を咎めず 我が誠の足らざるを尋ぬべし

とあります。この様に「如何に生きるか」について、数えきれないほどの先達が万卷の書に残してくれています。

義、勇、仁、礼、誠、名誉、忠義は、全てそれぞれに密接に関連しあった行動規範です。

義と勇とは表裏一体であり、「義は武士の掟中最も厳格なる教訓である。武士にとりて卑劣なる行動、曲がりたる振る舞いほど忌むべきものはない。」「勇気は、義のために行われるのでなければ徳の中に数えられるにほとんど値しない。」「勇とは義(ただ)しき事をする事なり。」と述べられています。鬼手仏心と言われる様に、患者さんを治療するため、大きなリスクを背負いながら勇気を持って治療しなければならないことがあります。まさに義のために行われる勇気です。私の専門領域である脊椎外科ではそのような困難な症例が数多く存在します。低侵襲手術であるFull-endoscopic Spine Surgeryも患者さんにとっては低侵襲なのですが、術者にとっては狭い術野で神経を避けながら行うストレスのかかる手術法であり、勇気と覚悟無くしては遂行できません。

「医は仁術なり」と言われるが如く、仁・惻隱の心は医療には欠かせない徳の一つです。新渡戸先生は、「愛・寛容・同情・憐憫は古来最高の徳として すなわち人の靈魂の属性中最も高きものとして認められた。」と述べておられます。現代の医療は仁の心のみでは遂行できない経済的問題を抱えておりますが、やはり基本は仁・惻隱の心でなくてはならないと思います。大分県に太陽の家という身体障害者授産施設があります。大分中村病院院長であった中村裕先生と副院長であった畑田和男先生が昭和40年に立ち上げた施設です。当時日本の社会福祉制度は未熟で、脊髄損傷患者には絶望しかありませんでした。中村先生はイギリスのStoke Mandevilleに留学してGoodman先生に師事し、障害者福祉に生涯を捧げる決意をされました。最初は炬燵

の脚を作る小さな授産施設から始めたのですが、その後、SONY、オムロン、HONDA技研、三菱商事、DENSO、FUJITUといった大企業と提携し、別府市日出町に立派な施設が建設されています。多くの障害者が生き生きと勤務されていらっしゃいます。モットーは“No charity, but a chance!”です。開設当初、対麻痺の患者さんが広島から車椅子を自ら漕いでボロボロになりながら大分まで来られたという逸話も残されています。私が30歳の頃、大分中村病院に赴任していた時に見学させていただきました。当時すでに中村先生は鬼籍に入られておられましたが、畑田院長先生に詳しく教えていただきました。このような事業はまさに仁・惻隱の心がなければ成し遂げ得なかったことであると思います。

武士道の教育は学校で行われていたのではなく、各家庭で親から子へ代々受け継がれてきたものです。現代の日本ではこのような道徳規範を教える家庭は少なくなっていると思われる。幸い私は高高時代野球部に所属し、そこで野球を通して義、勇、仁、礼、誠、名誉、忠義、克己を教えられました。良き経験であったと感謝しています。高校2年生の冬、土曜日の午後から基礎体力訓練を行っておりました。そこへ高高野球部OBであり、その後尽誠学園高校野球部監督に就任され、伊良部投手を育てた大河監督がひょっこり現れました。午後1時から午後4時半まで3時間半ダッシュ、筋トレなどのメニューを休む間もなく行うよう指示されました。当時17歳と若く、非常に元気であった我々も、さすがに疲労困憊してしまいました。最後に大河監督が120mあるグラウンドの対角線上を「部員全員で一列になって前の者の肩を掴んでしゃがみ、うさぎ跳びで走破せよ。一人でも脱落者がいれば最初からやり直しだ。」と指示を出しました。疲労困憊している部員たちは、それでもみんなの為に最後の力を振り絞ってうさぎ跳びをし、なんとか1回でグラウンドの対角線上を走破することができたのです。その時の安堵感は今でも忘れません。最後に大河監督が仰られた言葉は今も胸に残っています。「いいかみんな。これがチームワークだ。一人でも諦めたらチームは負ける。みんなの為に絶対に諦めるな。」まさに医療にも同じことが言えると思っています。多くの専門的な知識技能を持ったプロフェッショナル達の一つの目標のため力を合わせて治療にあたれば大きな成果を生み出せるのではないかと考えます。しかし、一人でも諦めたら十分な成果は得られないのです。

このような武士道の教えを元とし、今後も精進し地域医療に少しでも貢献できたらと存じております。今後ともご教示ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 文藝春秋「同級生交歓」について

昨年11月に文藝春秋の同級生交歓という企画に取り上げていただきました。これは日本経済新聞社編集委員であり、作家でもある田村正之君に依頼されたものですが、田村君の人選により私を含め香川県知事池田豊人君、元アナウンサー橋谷能理子さんなど昭和55年高高卒の8名が紹介されました。同級生交歓のアーカイブを見てみるとこれまでに高高卒業生で登場していたのは昭和48年卒俳優高畑淳子さんら、昭和50年卒東京大学医学部名誉教授国土典宏先生ら、平成2年卒国会議員小川淳也さんらでした。錚々たるメンバーです。このような企画に私のようなものが掲載されて良いのかもと思います。というのも昭和55年卒にはもっと立派になっている同級生がたくさんいるからです。香川県立中央病院院長高口浩一君、三豊総合病院院長山田大介君、愛媛県立中央病院院長中西徳彦君も高高55年卒の同級生です。また、現在アメリカ国民となりNASAに勤務している加藤誠司君は地球温暖化のスペシャリストです。今後の地球温暖化に

に対する施策は彼の研究が元になると言っても過言ではありません。さらに、四国の公的病院長を紹介させていただくと高松市立みんなの病院院長六車直樹先生は高高57年卒ですし、4月から徳島大学病院院長に就任する西良浩一教授も高高57年卒です。文武両道、質実剛健、自主独立の精神を教える高松高校が如何に社会に貢献できる人材を育てているかという事がこのことからよくわかります。

文芸春秋社からは是非ご卒業生の中でこれと思うお人があればご推薦くださいと依頼されております。もしご推薦希望の方がいらっしゃればご一報くださいませ。



左から香川県知事 池田豊人、元アナウンサー 橋谷能理子、私、元昭和大学歯学部教授 新谷 悟、SMBC日興証券金融財政アナリスト 末澤豪謙、BOX JAPAN代表取締役社長 古市克典、弁護士 佐長 功、日本経済新聞社編集委員 田村正之



## 高松高校創立 130 周年記念祝賀会

徳島玉翠会副会長 松原 淳 (昭和 60 年卒)

香川県立高松高等学校創立130周年記念祝賀会が2024年8月10日に開催され、徳島玉翠会からの来賓の1人として参加しました。会場はJRホテルクレメント高松の3階で、飛天の間と玉藻の間との中ほどのスペースをつなげて1空間として広大な間が用意されていました。聞くところによると参加者は1000人を超えていたとのことで、会が始まる前から熱気がむんむんと満ちています。

会場は年代ごとにテーブルがあり、私の年代はまだまだ後ろの方ですが、今回は来賓席で前方のステージすぐ近くに座らせていただきました。卒業生で能楽師の伶以野さんとOB有志による能の舞から会は始まり、それから香川県知事の挨拶へと進みました。池田県知事も卒業生とのことで、知事は在学時代のユニークな先生のことを話題にされ、私もお世話になった先生でとても懐かしく思いました。そして、東京玉翠会の渡辺会長の発声により、乾杯が行われました。

会の中ほどの演目として、第九「歓喜の歌」の合唱がありました。全員で合唱の指導を受け、楽譜も配られていましたので、特別合唱団の皆さまと共にドイツ語で合唱を行いました。歓喜の歌はこのような場にふさわしく、非常に高揚感がわきます。続いて吹奏楽部OBによる生演奏の中、応援団OBによる応援団演舞で更に盛り上がりました。朝日輝く、扇の舞、コンパクトマーチ、高高高高と続き、現役応援団にも負けない力強い演舞により、会場は一体となったのでした。

このように大勢の参加者の出席を目にして高松卒業生の層の厚さを感じられ、その一員であることをうれしく思い、また懐かしさも感じた一日でした。実行委員長の佐藤副会長をはじめ実行委員の皆さまには、このような盛大な祝賀会をとりまとめて開催していただき、感謝を申し上げます。この次の140周年のときには自分の立場もまた変わっているでしょうが、同じように皆でお祝いをしたいと思いつつ、会場を後にしました。



## 引っ越しと歩んできた私

徳島玉翠会会員 高木 貴志 (昭和 57 年卒)

私の父は銀行員でした。金融業界は転勤が多いことで知られています。私が生まれたのは広島ですが、その後、幼稚園2つ、小学校3つ、中学校2つと案の定、たくさんの引っ越しを経験しました。小学校は入学が兵庫、3年生から4年生までが高松、5年生から6年生までが東京と2年刻みで小学生時代を過ごし、高松の2年間で出会ったのが西良君でした。当時、テレビCMのモノマネをしてお互い笑っていたのを覚えています。その後、まさか高校で一緒になるとは思いもしていませんでした。

東京の中学校で中学2年生から3年生に進級というタイミングを迎えていた時、どこかの都立高校に行けたらいいなと漠然とっていました。しかし、突然、親から「高松に引っ越しことになったので、中学3年からは高松だよ」と告げられました。東京で過ごした4年間は楽しかっただけにショックを受けて、気持ちを切り替えることがなかなかできませんでした。高松では、なんとか中学3年の受験生としての一年間を過ごし、高松高校に入学することができました。小学生時代に楽しかった東京でもう一度過ごしたいという強い気持ちがありましたので、迷わず東京の大学に進学しました。

一般的に卒業式というのは小学校の場合は6年間、中学校の場合は3年間、同じ学び舎に通い、共に勉強して、遊んで、部活をしてきた仲間や先生と別れを惜しんでというパターンが多いと思いますが、残念ながら私の場合は、そこまで深く思いを寄せるということはありませんでした。とにかく、転校、転校で友達ができたら、すぐお別れをしなければならず、父のことを恨んでいた時期もありました。そして、自分が職業を選ぶときは絶対転勤とか引っ越しに関係ない業種にしよう、と子供ながらに心に誓っていました。

ところが、私は大学卒業後、物流会社に入社してしまい、蓋を開けてみれば、その会社は引っ越しのCMを全国ネットで頻繁に放映するほど力を入れており、引っ越し業も経営の柱のひとつになっているという、なんとも皮肉な人生を送ってしまっています。入社後は転勤が多だろうと覚悟はしていましたが、新入社員時は松山に配属され、その後、高松、東京、高松、東京、大阪、東京、徳島、高松と勤務し、3年前に再度徳島に転勤になり、現在に至っています。ちなみに東京へ2度目の転勤の際は高松に自宅を購入したばかりでした。当時、息子二人は中学生と小学生、息子たちからは「きれいな家で過ごしたいし、これからも高松の友達と遊びたい」と言われ、妻は息子たちの応援団長なので聞くまでもなく、結果は火を見るより明らかで、「お父さんいってらっしゃい」という宣告を3人から受けました。

徳島での勤務は2回目なのですが、高校の同窓会が徳島で開催されているとは思ってもみなかったもので、ぜひ参加したいと思い、昨年、徳島玉翠会に初めて参加しました。医者の方が多いことに驚き、あらためて高松から徳大医学部に進学される方が多いことに気づかされました。私は文系で会社員ですので、この同窓会が「異業種交流会」の場にもなって、実際参加させていただき、大変有意義なひとときを過ごすことができたと思っています。

現在、徳島で単身生活3年目になります。単身生活は通算すると12年になり、ベテランの域に達していると言えます。換言すれば、否応なく炊事・洗濯・掃除のスキルアップにつながっているということなのかもしれません。最近の私の料理の先生は「YouTube」ですが、いいアプリやいい先生がいればぜひ次回の玉翠会の際、ご教示いただけましたら幸甚です。

東海玉翠会総会に参加して

徳島玉翠会会長 長尾 哲見（昭和44年卒）

令和6年5月18日午後4時から名古屋名鉄グランドホテルで東海玉翠会総会があり、徳島玉翠会を代表して出席しました。

本部から間島会長、母校から中筋校長、関西玉翠会から河井幹事長が来賓として出席。

私は昨年の徳島支部30年総会のお礼と来月22日に第31回徳島玉翠会総会開催を報告。懇談会では有意義な語らいが出来ました。

また、徳島玉翠会同様に参加者全員が近況報告をしてお互いの絆を深める機会になりました。

最後に母校の校歌を斉唱して総会を閉じました。

尚、翌日は徳川記念館とNHK朝ドラの舞台となった旧名古屋高等裁判所を見学してきました。徳川御三家の歴史がよく分かりました。

旧名古屋高等裁判所の階段はその朝ドラが身近に感じる事が出来、良い思い出になりました。



東海玉翠会総会集合写真 2024年5月18日 名鉄グランドホテル



東京玉翠会に参加して

徳島玉翠会幹事 伊賀 弘起（昭和51年卒）

令和6年6月8日（土）に東京プリンスホテルにて第42回東京玉翠会が5年ぶりにリアル開催され、長尾会長の名代として参加してまいりました。

ギネス記録に認定されたマンモス同窓会であることは聞いておりましたが、いざその中に身を寄せますと大都会で迷子になった感覚でした。5年ぶりの対面形式ということで、「さあ、会って（おうて）話そ！」のテーマをみても本会の主旨と期待が見て取れます。「久しぶりやの、なんしょったんな？」の讃岐弁が聞こえてきそうです。ただ残念なことに開催日の直前に渡辺修会長が体調を崩されたとのことで出席できず、三崎屋副会長が開会のご挨拶を代行されました。続いて中筋高松高等学校長、池田香川県知事、間島玉翠会会長が5年ぶりの開催に祝意を述べられ、大宴会の幕開けとなりました。ステージ前の来賓席に戻りますとお隣が池田香川県知事でした。終始高高的の思い出話をさせていただき、最後には知事と肩を組んで応援歌と校歌を歌わせて頂いたことは私の人生の貴重な思い出の一つになったことは言うまでもありません。

さて東京玉翠会は全員が着席できないことは皆様もご承知のことと思います。そこで今年状況を確認するべく、来賓席の皆様にご挨拶を済ませた後に同窓生（昭和51年卒）のテーブルに合流いたしました。もちろん我が学年は立食でしたが、なんと1年先輩の昭和50年卒の方々も着席テーブルで談笑されておられました。学年代表幹事に「来年はいよいよ着席ですか？」と尋ねると「会場の広さと参加人数によっては流動的です。我々は期待していない。」との回答でした。確かに会場の前方には大先輩方が多数ご参集されており、67歳はまだ着席してはいけないようです。

宴会の最後は今年の8月10日（土）に高松で開催される「高松高校創立130周年記念祝賀会」のご案内があり、閉会となりました。田舎者の私は「これだけの人たちが2次会へ入れるのだろうか？」と心配しながら、私は同窓生に連れられて浜松町へ向かいました。以上東京玉翠会の参加報告といたします。



左から池田氏（香川県知事）、三崎屋氏（東京玉翠会副会長）、伊賀、淵崎氏（東京玉翠会副会長）



左から伊賀、多田氏（岡山玉翠会会長）、中野氏（関西玉翠会）

関西玉翠会総会に参加して

徳島玉翠会副会長兼事務局長 坂口 英則 (昭和 48 年卒)

令和6年10月26日にアートホテル大阪ベイタワーで開催された第31回関西玉翠会に参加して来ました。

今年のテーマは「なんがでっきょんな？」これは讃岐での挨拶の定番ですね。これの答えは「なんちゃでっきょらんわ。若いもんもまあいっぺん来てんまい」です。良いですねえ、讃岐弁！イントネーションがたまらん！

今回の参加人数は233人、物故者への黙とう、今年の平成5年卒の幹事団紹介のあと来賓紹介と続きました。来賓紹介では一言言わんといかんのかいなとドキドキしましたがそれはなかったのちやレヤレ、その後、樋口関西玉翠会会長、玉翠会間島会長、香川県池田知事の挨拶と続きました。

懇親会は中筋高高校長の乾杯音頭で始まりました。

今回のイベントは、まずお土産の紹介。(株)ちきりや様の経営する「ラ・ファミーユ」の看板商品である「黄金バームクーヘン」に高高校章を焼き印したもの、二つ目は高高通信制と石丸製麺がコラボした「高高うどん」、三つ目が「讃岐うどん今雪」特製の「だし醤油」。食べ物ばかりなので出席した者の特権でおいしくいただきました。

高高卒業生の活躍紹介のあと、「みんなでゴスペルを歌おう！」と題して、大阪を中心に活躍する実力派ゴスペルシンガーユニット「un cercle(アンセルクル)」による素晴らしい歌声が披露されました。このユニットには高高平成5年卒の北村尚子さんもメンバーとして加わっていました。

この後、お楽しみ抽選会(ハズレでした。)、応援団OBによる演舞、吹奏楽OBによる演奏、校歌斉唱と続きました。

最期は今回(平成5年卒)の幹事あいさつと来年の幹事である平成6年卒の幹事紹介が行われ、集合記念写真撮影で総会は閉会となりました。

今回、昭和48年卒の私の同級生は一人もいなかったもので、私が座った席は昭和44年卒の方々のテーブル。長尾会長の同級生の方ばかりで、会長の昔話も色々聞くことができました。

余談ですが、総会終了後、ホテルを出ると商店街には頭髪が黄色や青や紫の若者が派手な服装でゾロゾロ歩いており、やっぱり都会は違うなあ、と感心をした次第です。しばらく行くと賑やかな音楽の音、大勢の虹色の頭髪と派手な服装の若い観客達、舞台ではこれまた派手な衣装の女の子達が踊っておりました。どうやらコスプレのイベントが行われていたようで、これはなかなか徳島では観ることのない光景なので、記念にと写真を撮ったところが、隣にいた若い女性から「撮影は禁止ですよ。」とのコメント。「そなんん知らんがな」とは思いましたが、「すみません」と言いつつ帰路についたのであります。

岡山玉翠会に参加して

徳島玉翠会会長 長尾 哲見 (昭和 44 年卒)

令和6年11月17日午前11時から岡山市のアークホテル岡山で岡山玉翠会の第44回総会に来賓として私も出席しました。

冒頭に岡山玉翠会の多田会長の挨拶の後、記念講演で41年卒で慈圭会慈圭病院名誉理事長の堀井茂男氏から「いのちの電話の40年 心の健康といのちの電話の聴くところ」の講演がありました。

続いて、本部の間島会長、母校の中筋校長、東海支部の入倉会長、関西支部の田嶋副会長から来賓挨拶。

私も徳島支部の会長としたお祝いの挨拶をしました。

この後、総会議事、集合写真、懇親会となり、参加者全員のスピーチがありました。

人事案件では多田会長の辞任表明を受けて副会長の仁木 壯氏が新会長に選任されました。

多田会長は44年卒同期でもあり、辞任された事は誠に残念でしたがお疲れ様でしたと申し上げたいと思います。

最後に校歌斉唱とふるさとの合唱でお開きとなりました。



第44回岡山玉翠会総会 令和6年11月17日 於 アークホテル岡山

## 徳島玉翠会 会則

### 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は徳島玉翠会と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員の相互の連絡と親睦を図る。

2 本会は玉翠会の徳島地区における支部として、本部のもとに母校の発展を期する。

(事業)

第3条 本会は前条の目的を達する為に次の事業を行う。

- 一 会員相互および母校の発展に寄与する。
- 二 親睦を図る為に総会などを開催し、会報や会員名簿を発行する。
- 三 その他の必要と認められる事業。

(事務局)

第4条 本会の事務局を徳島県内に置く。

### 第2章 会員

(会員)

第5条 本会の会員は、次の資格の一つを備える者とする。

- 一 徳島県に在住し、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校および同高松高等学校（以上5校を「母校」という。）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下「通常会員」という。）
- 二 その他、本会の役員会が入会を認める者（以下「特別会員」という。）

(部会の設置)

第6条 第3条の事業を行うため部会を設置する事ができる。

2 部会の運営は所属会員の協議による。

(会費)

第7条 会員は年会費を納めることとする。

2 前項の会費の額は、役員会で定める。

### 第3章 役員

(役員)

第8条 本会に次の役員を置く。

- 一 会長 1名
- 二 副会長 4名
- 三 役員として、事務局長1名、会計1名、監事1名、幹事若干名、その他会長が必要と認めたものを置く。

2 本会に、役員協議を経て名誉会長、名誉会員、顧問を置く事ができる。

(役員選出)

第9条 役員選出は次のとおりとする。

- 一 会長及び副会長は、役員会の推薦に基づき総会で決定する。
- 二 その他役員は会長が推薦して役員会で決定する。

(任期)

第10条 会長及び副会長の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員職務)

第11条 役員職務は次のとおりとする。

- 一 会長は本会を代表し、会務を統率する。
- 二 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は会長の職務を代行する。
- 三 事務局長は、会長の指示に従い会務を遂行する。
- 四 会計は、会務に必要な収支を管理し総会で報告する。
- 五 監事は本会の会計を監査する。

### 第4章 会議

(総会)

第12条 総会は会長の招集により、毎年1回開催する。

2 総会においては次の行事を行う。

- 一 本会の運営に関する協議決定と会務及び会計報告
- 二 会員の親睦を図る行事
- 三 その他、必要な事業

(役員会)

第13条 役員会は会長の招集により、適当な時期に開催する。

(議決)

第14条 総会及び役員会の議決は、出席者の過半数をもってこれを行う。議長は会長が行い、副会長が代行することができる。可否同数の場合は議長が決するところによる。

(会計)

第15条 本会の会計は、年会費および寄付金その他の収入による。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日にはじまり翌年3月末に終わる。

### 第5章 会則の改正

第17条 この会則の改正は、役員会の議を経て総会で決定する。

### 第6章 細則

第18条 この規則施行に関し、必要な細則は役員会の議を経て別に定める。

付則

(会則の最終改正) この改正規則は、平成21年1月10日から施行する。

---

## 編集後記

---

第32回総会誌の顔は、森川輝男玉翠会副会長の写真作品「暮色のせとしるべ」です。昨年度の消しゴム版画「男木鳥灯台」に続く瀬戸内海の灯台からは潮の匂いが届いてきそうです。「世界の宝石」と称えられる瀬戸内国際芸術祭も開催される年であり、故郷の景色とアートを心待ちにしております。また、総会特別講演の森川氏「写真撮影の楽しみ方」も写真愛好家の方是非お越しください。

第32回総会誌を発行するにあたり、広告賛助頂きました皆様(p1掲載)、ご寄稿頂きました間島玉翠会会長、中筋高松高校校長先生、仁木岡山玉翠会会長、菅野東海玉翠会副会長、佐藤玉翠会副会長、森川玉翠会副会長、長町徳島玉翠会幹事、松原徳島玉翠会副会長、高木徳島玉翠会会員、関係者皆様、松下印刷様に心より感謝申し上げます。6月21日総会懇親会でお会いしましょう。

徳島玉翠会事務局編集担当 邊見 千香（昭和49年卒）

小児科・内科・循環器科・心療内科・神経内科・精神科  
精神科デイケア

※臨床心理士によるカウンセリング、精神保健福祉士による、個別相談随時行っています。(要予約)



医療法人 医生会  
**宮内クリニック**

徳島市名東町2丁目660-1 ☎ (088) 633-5535

宮内 吉男 宮内 和瑞子(昭和48年卒)

**いしたに耳鼻咽喉科クリニック**



院長：石谷保夫  
(昭和48年卒)



〒770-0006

徳島市北矢三町3丁目2-53

電話：088-633-8741

FAX：088-633-8715

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	○	○	○	/	○	○
午後3:00~6:00	○	○	○	/	○	5:00 まで

休診日/木曜日・日曜日・祝日

**いのもと眼科内科**

院長：猪本享司(内科)・副院長：猪本(旧姓横井)康代(眼科) (昭和50年卒)

〒771-0204

徳島県板野郡北島町鯛浜字かや122-1

電話：088-698-8887

FAX：088-698-7110

http://www.inomoto.jp



使用していない土地や建物はごさいませんか？

土地

家屋

一度アルファードに  
ご相談ください

**買取  
致します**

- 引越しの為、売却したい
- 管理が大変・処分に困っている土地
- 相続で譲り受けた空き家を手放したい

インターネットからのお問合せも  
受け付けております

<https://www.alphard7.com>



香川県・徳島県の土地を

中心にお取り扱いしています！

まずは御気軽にご相談ください

親身にご対応させていただきます



全宅地建物取引業保証協会会員 国土交通大臣(4)第7434  
(公社)香川県宅地建物取引業協会会員

ALPHARD, INC **株式会社アルファード**  
取締役 七條 政志

Tel : 087-815-0777 香川県高松市伏石町2174番地17  
Fax : 087-815-0776

介護付き有料老人ホーム  
エクセレント徳島



〒770-0005 徳島市南矢三町1丁目7-51 TEL. 088-631-6511

令和6年度 介護職員の働きやすい職場環境づくり

# 厚生労働大臣表彰奨励賞 受賞!

徳島県では「エクセレント徳島」が唯一の受賞となりました

(令和6年度は、全国69事業所が受賞)

「介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰」は、職員の待遇改善、人材育成及び介護現場の生産性向上への取り組みが優れた介護事業者への表彰を通じた好事例の普及を図ることを目的に、厚生労働省が令和5年度より実施している制度です。



感動を創造する エクセレントグループ

## 株式会社 エクセレントケアシステム

代表取締役 大川 一則 [本社] 徳島市かちどき橋1丁目22-1 TEL:088-623-1165 FAX:088-623-4311

【公式サイト】



〔親会社〕株式会社エクセレントホールディングス

〔グループ法人〕(株)エクセレントケアシステム・(株)光華の杜・(株)タフティサポート・(有)シルバーケア・(株)アイリーフ・(株)ヒーロー  
(株)エクセレントケアサポート・ハウジングサポート(有)・(株)EXキャリアサービス・(株)EXT・(株)H&E・(株)AGS

〔関連法人〕(福)ハート福祉会・(医)メディエンス

能登半島地震・豪雨被害における仮設住宅として  
発災後1か月以内に入居可能に！（最終的に約700棟の活用）

# 移動式木造建築物 ムービングハウス

JAPAN MOVING HOUSE  
ASSOCIATION



移動・増設・用途転用が自由自在

製造・運輸・農家・福祉など  
各業界で大人気！！

## 皆様の課題を解決いたします！

- 感染症対策として緊急時の隔離施設に！
- 外国人寄宿舍や従業員住宅施設の整備！
- 老朽化した施設の建て替えや規模拡大による増設（仮設）！
- とにかく初期費用を抑えたい！
- リースを使って経費で処理したい！
- お試しでレンタルを利用したい！
- とにかく急ぎで利用したい！（備蓄利用）
- 中古物件を安く購入したい！



事務所



宿舎

☆展示場在庫は、即納品可能。

※新規製造は契約より約3か月～

☆基本サイズは2種類

- ・ 12m × 2.4m × 2.89m
- ・ 6m × 2.4m × 2.89m

☆導入方法は大きく3種類

一括  
購入

レン  
タル

リース

- ・ お客さまや物件により金額や利用の可否が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。
- ・ トレーラーが入る道路があり、25t レッカーで積み下ろしができることが搬入条件となります。

<四国取り扱い代理店> **3世紀目の挑戦丸浦工業株式会社**

〒778-0004 徳島県三好市池田町シンマチ1466

TEL：088372-1180 FAX：0883-72-5556

URL：M1s-united.com



## 第 32 回 総会 誌

2025 年 5 月 11 日 発行

### 編集・発行

徳島玉翠会事務局

〒779-3303

徳島県吉野川市川島町桑村 641-54

坂口方

TEL 090-4974-1934

E-Mail:mjhide@ma.pikara.ne.jp

### 印刷

松下印刷株式会社

〒770-0874

徳島市南沖洲 5 丁目 7-63

TEL 088-664-5522

FAX 088-664-5527

公式) 徳島玉翠会 HP

<https://gyokusui.org/tokushima/>



←こちらの QR コードを  
読み取って、アクセス  
してください。